

# 令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

宮古島のアカギに害虫発生！

7月8日（火）

令和7年7月7～8日にかけて宮古農林水産振興センターの職員がアカギ害虫の被害状況を調査した。

被害調査は、7月5日に宮古島市街地内にある公設市場前交差点に面した屋敷林のアカギで、「沖縄本島で蔓延しているアカギの害虫アカギヒメヨコバイによる被害らしきものが確認される」の一報を受けてからのものであった。宮古島内において、2015年秋にクロツバメによる葉の食害が確認されたことがあるものの、アカギヒメヨコバイによる被害はこれまで確認されていない。

調査は被害が確認された公設市場周辺を中心に行い、別日に造林事業によって宮古島内で最もアカギの資源が造成されている大野山林を調査した。調査の結果、被害は公設市場周辺の庁舎跡地や学校などの植栽木や道路沿い、私有地に自生している立木などで確認されたものの、市街地内に留まっており、大野山林では被害が確認されなかった。被害が確認された立木については、サンプル採取を行い森林資源研究センターに同定を依頼した。また被害発生については、県内部だけでなく宮古島市や森林組合にも情報を共有し、速やかに防除体制が整うよう準備を進めている。

現時点では被害が市街地内に留まっていることから、被害の初期段階と考えられる。今後は宮古島内での被害状況の確認、防除体制の構築など関係機関と協力して、被害蔓延防止に努めていきたい。



被害木でのサンプル採取



大野山林での被害調査

（報告者：宮古農林水産振興センター 山城、仲宗根、玉城）